

ProScan Enterprise for IBM mainframes の新バージョンリリースについて

2022 年 1 月 28 日に ProScan Enterprise for IBM mainframes の新バージョン(6.0.5.10)をリリースしました。

主な変更内容

- ClamAV エンジンのバージョン 0.103.4 の採用
- アップデート時の HTTPS プロトコルの利用可能に (UpdateProtocol パラメータ)
- スキャン時のキャッシュ機能 (ファイルの MD5 値を DB 化し、一度検査して問題ないファイルはスキャンを省略する機能) を追加 (CacheCheck パラメータ)
- 通知メールの文字コードを UTF-8 に変更
- 通知メールの Subject を自由に設定できるように変更 (MailSubject パラメータ)
- スキャン時のリターンコードを見直し、アラート数を stderr に出力するように変更
proscanfs のリターンコードは以下のようになります。

| | |
|----|----------------------------------|
| 0 | 正常終了しました。 |
| 1 | アラートが発生しました。標準エラー出力にアラート数を出力します。 |
| 10 | スキャンがシグナルによって終了しました。 |
| 11 | スキャンが異常終了しました。 |
| 12 | オプションが足りないか不正なパラメータです。 |
| 13 | 設定ファイルが読み込めません。 |
| 14 | ログファイルがオープンできません。 |
| 98 | スキャン対象が指定されていません。 |
| 99 | ライセンス期限切れです。 |
- アラート数のカウントにエラーを含めるかどうかの指定を可能に (純粋な感染ファイルのみをアラート数とすることができます) (AlertWithoutError パラメータ)
- スキャンエラーファイル数のカウントを追加
- ラージファイルのサポート
- ファイルサイズの指定に GMK 単位を使用可能に (例: 5G[=5,368,709,120 バイト]や 128M[=134,217,728 バイト]と設定可能)
- 隔離時のファイルのパーミッションを"000"にし、読み書き不可に

パッケージダウンロード URL

<https://www.promark-inc.com/dl/ProScan/Enterprise/packages/proscan-ibm-linux-6.0.5.10-1.s390.tar.gz>
(サイズ : 256,010,418 Byte MD5 値 : 008f2a02aba993c3d8739fa3306c3d75)

新規インストール方法

パッケージに含まれる auto_install.sh スクリプトを使用してインストールを実施します。
詳細につきましては、添付のインストールガイドを参照ください。

手動アップグレード方法

新規インストールと同じ auto_install.sh を使用しアップグレードを行います。コマンドのオプションで upgrade を指定することにより、設定をそのままにアップグレードを実施することが可能となります。
パッケージを展開したディレクトリへ移動し以下コマンドを実行します。

```
./auto_install.sh upgrade
```

“upgrade successful”と表示されればアップグレードは成功です。”upgrade failed”となった場合には、アップグレードに失敗しましたので、弊社までログファイル（同じディレクトリにできる upgrade.log）をお送りください。なお、アップグレードに失敗した場合には、元の環境のままとなっております。

自動アップグレード方法

ProScan には自動で clamd エンジンならびに ProScan モジュールをアップグレードする仕組みが備わっております。今回のアップグレードでは自動アップグレードの提供を行う予定です。自動アップグレードは3か月後の5月1日を予定しています。自動アップグレードを有効にしている、そこまでアップグレードを実施しなくてもよいお客様はそのままお待ちください。また、手動でのアップグレードを5月1日以降に実施する予定のお客様は、自動でアップグレードされないように以下設定を行ってください。

ProScan 設定ファイル (proscan.conf) の[updater.options]セクションのReloadApplication パラメータを“no”に設定します。

これにより、自動アップグレードは抑止され、5/1以降も古いバージョンのまま運用可能です。

現状お使いのバージョンは2022年12月31日までがサポート期限となりますので、それまでにアップグレードの実施をお願い申し上げます。

PSMT をご利用中のお客様

バージョンアップに伴い、一部のスクリプトをアップデートする必要があるため、PSMT のアップデート後に ProScan のアップグレードを実施してください。

以上ですが、ご不明な点がございましたら弊社テクニカルサポート (support@promark-inc.com) までお問合せ頂ければ幸いです。

ProScan バージョン 6.0.5.10 インストールガイド

1. パッケージの展開

ダウンロードしたパッケージを以下の手順で展開します。(/tmp にダウンロードした場合)

```
# cd /tmp
# tar xzf proscan-ibm-linux-6.0.5.10.s390.tar.gz
```

※展開してできるディレクトリはインストール後削除しても構いません。

2. インストール

以下の手順で行います。

```
# cd /tmp/ ProScan_for_IBM_Linux_s390
# ./auto_install.sh none /tmp/PSHB08-0001-123-456-789.key
*** ProScan Enterprise for IBM mainframes 6.0.5 Installer started.
*** Installer version 2.5.1.6, Copyright (C) Promark Inc. 2004-2021

ClamAV install
ClamAV package install ... done
ClamAV vdf install ... done
Shared library install ... done
New ClamAV install complete
ProScan configuration file setup ... done
auto install complete
```

- ① インストール時にタイプを指定します。 ファイルスキャナ機能のみをインストールする場合には”none”を指定します。メールスキャナ機能を利用する場合は、MTA の種別(sendmail,milter,postfix,qmail のいずれか)を指定し、インストールを行ってください。
- ② 評価利用でなく既に正規ライセンスをお持ちで、そのライセンスでインストールを行う場合には、ライセンスキーファイルを指定するとそのライセンスを自動的にセットします。
- ③ 既に ProScan がインストールされている環境で実行しますと、古いエンジンをアップグレードしてよいか確認されますので、“y”とタイプしてインストールを継続してください。GLIBC のエラーとなる場合には一旦アンインストールしてから、再度、インストールを実施してください。アンインストールを行うと設定やログファイルは全て消えますので、必要であればバックアップを取ってから実施してください。

3. 動作確認

インストールが正常行われているか以下コマンドで clamd エンジンを起動してください。clamd が正しく起動したかどうかはpsコマンドで確認して下さい。起動確認後は停止をお願いします。

もし、起動していない場合には、ログを参照してください。(/var/opt/proscan/log/clamd.log)

```
# /opt/proscan/bin/proscan
※起動に時間がかかりますのでお待ちください。
# ps -ef|grep clamd
root    27984    1  0 12:08 ?        00:00:00 /usr/lib/clamav/clamd --config-file=/etc/clamav/clamd.conf
# /opt/proscan/bin/proscan stop
ProScan sending signal clamd(pid=27984) now stopped.
```

もし、常駐させる場合には起動停止スクリプトに組み込んでください。

※コマンドの実行でライブラリ関係のエラーが出る場合には、LD_LIBRARY_PATH=/usr/lib/clamav を付けてコマンド実行してください。